

第7回桐朋学園全国ジュニア音楽コンクールを迎えて

さあ、ジュニア音楽コンクールの季節です！まずもって、皆さん、楽しんでください。
新しい曲への挑戦を、それを仕上げることを、そしていろいろな人に聴いてもらうことを。
その経緯の中で、自然に「桐朋の伝統」も身につけていただけたらと思います。
コンクールは、受けなければならない関門ではありません。自分の意志で、試すことの出来る
「自由の場」です。皆さんの演奏を楽しみにしています。

桐朋学園大学学長 梅津時比古

開催部門

【ピアノ部門・ヴァイオリン部門】

作曲部門は2022年度開催予定
詳細につきましては決まり次第ご案内いたします

学年区分〈各部門共通〉

A 部門 小学生低学年の部：小学1～3年生

B 部門 小学生高学年の部：小学4～6年生

C 部門 中学生の部：中学1～3年生

D 部門 高校生の部：高校1～3年生



概要・日程

●予選

ピアノ部門	動画審査
ヴァイオリン部門	

●本選

ピアノ部門	9月26日(日)	演奏審査 (会場審査)
ヴァイオリン部門	10月3日(日)	

課題曲

- 予選・本選とも全て自由曲とします。但し、予選と本選で同じ曲を演奏することはできません。
- 演奏時間は下記の通りとします。(各部門共通)

A部門 (小1～小3) 5分以内

B部門 (小4～小6) 8分以内

C部門 (中1～中3) 11分以内

D部門 (高1～高3) 13分以内

申込料

各部門共通

予選	動画審査	12,100円(税込)
本選	演奏審査	12,100円(税込)

予 選

申 込：動画審査といたします。未編集の演奏動画を YouTube へアップロード後、
下記の申込フォームよりお申し込みください。(アップロードの方法は別紙をご参照ください)

【申込フォーム】

【申込フォーム】

<https://forms.gle/9fe5tmWJTzKsLqoY8>



申込締切：7月31日(土) ピアノ部門・ヴァイオリン部門共通

申 込 料：受付終了・確認後、お振込み先をお知らせします。申込料 12,100 円（税込）を指定口座まで
お支払いください。

結果発表：8月12日(木) ピアノ部門・ヴァイオリン部門共通

音楽教室ホームページに発表いたします。

本 選

※審査会場は未定

演奏審査：ピアノ部門：9月26日(日) ヴァイオリン部門：10月3日(日)

申 込：予選通過者にご連絡いたします。

申 込 料：受付終了・確認後、お振込み先をお知らせします。申込料 12,100 円（税込）を指定口座まで
お支払いください。

曲 目：予選と同じ曲を演奏することはできません。

※本選曲目が未定の方は 8月31日(火)までに事務局 (onkyo-honbu@tohomusic.ac.jp) まで
ご連絡ください。

演 奏 順：お申し込みいただいた方に集合時間等をお知らせいたします。

結果発表：各部門審査終了後、結果発表および表彰式（予定）を行います。審査結果は音楽教室ホーム
ページに発表いたします。

【本選の演奏について】

- ・進行の都合により、制限時間内でも演奏をカットすることがあります。どうぞご了承ください。
(この場合、審査には影響ありません。)
- ・複数曲を演奏する場合は演奏順にすべてご記入ください。
(但し全曲を演奏できるとは限りません。どうぞご了承ください)
- ・伴奏者（ヴァイオリン部門）は各自ご手配ください。保護者による伴奏は原則不可とします。
- ・演奏はすべて暗譜といたします。
- ・繰り返しのある曲を演奏する場合は原則として「繰り返しなし」「ダ・カーポあり」といたします。
- ・補助ペダル・アシストペダルが必要な方はご用意ください。設置および高さ調整（椅子も含む）は各自でお願いいたします。（保護者・付き添いの方による設置も可能です）
- ・本選は公開を予定しておりますが、出演関係者・保護者・伴奏者が優先となります。予めご了承ください。
- ・本選入賞者には賞状および賞品が贈られます。
- ・年中児以下のお子様は入場できません。
- ・桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室在籍生は氏名・教室名・実技担当講師名がホームページで紹介されることがあります。予めご了承ください。

その他

- ・入賞者は入賞者記念演奏会にご出演いただきます。（予定）
- ・コンクール関連の写真が音楽部門ホームページ、学校案内等に掲載される場合があります。

《お問い合わせ》

桐朋学園大学音楽部附属 子供のための音楽教室

〒182-8510 東京都調布市若葉町 1-41-1

TEL : 03-3307-3036 FAX : 03-3307-4115

e-mail : onkyo-honbu@tohomusic.ac.jp



● 審査委員長 **梅津 時比古** (桐朋学園大学学長)

早稲田大学第一文学部西洋哲学科卒。1982-83年、ケルン音楽大学を中心にドイツの音楽教育事情を視察・研修。2004年、著書「<ゼロ弾きのゴージュ>の音楽論」で第54回(平成15年度)芸術選奨文部科学大臣賞および第19回岩手日報文学賞賢治賞を受賞。2009年、NHK制定「日本の100冊」に著書「<ゴージュ>という名前」が選ばれる。2010年、「音楽評論に新しい世界を開いた」として日本記者クラブ賞を受賞。上記のほか、「フェルメールの楽器」「冬の旅 24の象徴の森へ」「音のかなたへ」「死せる菩提樹」など著書多数。ドイツでも「冬の旅」の研究書が翻訳出版され、2019年にはドイツで梅津時比古のシューベルト研究についてのセミナーも開かれた。音楽評論活動のほか、CD、コンサートのプロデューサー、内外のコンクール審査員も務める。公益財団法人三井住友火災海上文化財団理事。公益財団法人ジェスク音楽文化振興会理事。公益財団法人アフィニス文化財団専門委員。横浜みなとみらいホール専門委員。横須賀芸術劇場推薦委員など。



● 副審査委員長 **辰巳 明子** (桐朋学園大学 特命教授)

鷲見三郎、斎藤秀雄、海野義雄の各氏に師事。桐朋学園大学を首席で卒業。文化庁派遣芸術研究生としてベルリンに留学し、サシコ・ガブリロフ氏に師事。第38回日本音楽コンクール第2位。第16回海外派遣コンクール特別賞。第13回文化放送音楽賞。ドイツより音楽批評家賞。第2回生江賞を受賞。これまでにハンブルグ放送響、フランクフルト放送響、ハレ響、シュトゥットガルトフィル、都響、東響、新日フィル、日フィル等と共演。北京中央音楽院、上海音楽院、カリフォルニア大学、ウィーン音楽大学、グラーツ音大、ザルツブルグモーツァルテウム音大、チューリッヒ音楽院、サンクトペテルブルグ音楽院などで指導。クールシュヴェール、ニース、ピアリッツ、ボードイン、ニューヨーク SMF、各夏期アカデミーで指導。日本音楽コンクールをはじめ、ヴァイオリアスキー、オストラッフ、シュポア、モナコ、モーツァルトなど数々の国際コンクールの審査員を務めている。カメラータ・トウキョウよりCDをリリース。クールシュベール国際アカデミー in かさま音楽監督。ヴァイオリン・フェスタ・トウキョウ音楽監督。国立ベルリン芸術大学講師を経て、現在、桐朋学園大学特命教授。



Photo S. IMURA

● 副審査委員長 **小森谷 泉** (桐朋学園大学・大学院 学部長 教授)

桐朋学園大学で森安芳樹、井口基成の各氏に師事。1975年第44回日本音楽コンクール第1位。77年日本ショパン協会例会でデビュー。同年ジュネーブ音楽院に留学、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。79年ロン＝ティボー国際コンクール銀メダル。80年マリア・カナルス国際コンクール室内楽部門第2位。同年ジュネーブ音楽院卒業。以後、国内各地及びスイス、ドイツ、フランス、イタリア、ルーマニア等、ヨーロッパにおいてリサイタル、コンチェルト、室内楽の演奏会を行い、またテレビ、ラジオ等の録音分野においても高い評価を得ている。92年大阪文化祭本賞受賞。2003年度は母校の海外研修生としてルガーノのスイス・イタリアーナ音楽院にて研鑽を積む。現在、桐朋学園大学・大学院 学部長、教授、仙川教室長。